

平成28年3月号 人事課通信

ページ番号194201

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート

 シェア

2016年3月1日



『私みたいな人間にとって、最も大事な仕事の1つが人材獲得だ。』

I consider some of the most important job of someone like myself is recruiting. (1984年)

これは、米アップル創業者、故・スティーブ・ジョブズが残した言葉です。

彼は、類まれなるカリスマ性を発揮し、世界に革新的な商品を提供し、アップルの名を世界にとどろかすとともに、優れた経営者として、ビジネス分野において後世語り継がれる数々の名言を残してきました。その中のひとつに冒頭の言葉があります。

今や、世界的大企業となったアップル。そんな企業のトップが「人材確保」の重要性を唱えるように、全ての組織において優秀な人材を確保することは、組織の持続的発展のために必要不可欠なのです。

そのため、京都市消防局においても、ホームページやSNS、そして、あらゆる行事において、当局の魅力を発信し、「人材確保」につなげようと尽力していますが、我々がやっている人材確保術の最たるものが、今回紹介する「業務説明会」です。

▶ 業務説明会とは

業務説明会は、就職を控えている大学生、専門学校生、高校生等に対して、当局で働く魅力をアピールし、将来の消防職員の確保を目指して開催しているものです。説明形態は、就職活動生と近い距離で話すブース形式(就職活動解禁の時期によく報道される、企業合同説明会を想像してもらおうと分かりやすいかもしれません。)や教室の教壇でプレゼンテーションを行うものなどがあり、参加者数は、10人程度のものから100人を超えるものまで様々です。説明会では、本市で働く魅力をしっかりと感じてもらえるよう、主に以下の内容について、人事課員が説明を行っています。

- ・組織概要
- ・業務紹介
- ・研修制度
- ・キャリアステップ
- ・採用試験
- ・質疑応答
- 等



業務説明会の様子

▶ 受験者確保に向けて

近年、当局の採用試験受験者数は年々減少してきており、人事課としては、これを重大な課題であると捉えています。そのため、京都市が行う業務説明会において、消防職以外を志望する方を含めてアンケート調査を行ったところ、「体力に自信がない」、「消防について考えたことがない」、「男性の仕事というイメージ(女性参加者)」といった回答が多くありました。

以上の結果から、人事課としては、消防職に求められる体力について適切に伝えとともに、「消防職に親近感を持ってもらうこと」、そして、女性に対しては「男性の仕事というイメージを払拭すること」が必要であると考えています。特に、後者については、昨年、総務省消防庁に「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」が設置され、国を挙げて女性消防吏員の確保に取り組んでいるところです。

そこで、大学や高校にて説明会を実施する際は、参加者に親近感を持ってもらうため、その学校のOB・OGを、また、男性の仕事というイメージを払拭するために女性消防吏員を説明者として参加させるべきではないかと、検討を進めています。

<参考> 消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会報告書
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270729_houdou_2.pdf (外部リンク)

スティーブ・ジョブズは、巧みな言葉とプレゼンテーションで優秀な人々を引き付け、最高の商品を生み出し続けてきました。アップルの商品がiPhoneであるなら、当局の商品となるものは「安心・安全のまち 京都」です。これを生み出す一助となるよう、人事課は京都市消防局のスティーブ・ジョブズとして、説明会参加者を魅了できる「業務説明会」に挑戦します。

▶ 付録：初心忘るべからず

京都市の求める人物像。これは、採用試験受験者だけに求められているものではなく、採用後の職員にも常に求められている人物像です。今一度心に留めて自身の行動を確認し、今後の業務にいかしてください。



求める人物像

- ▶ **京都を愛する人**
京都を熟知し、公務に情熱と誇りを持って、京都の明るい未来を切り拓く人
- ▶ **責任感のある人**
市民のいのちとくらしを守る気概と誇りにあふれ、高い理想と遵法精神を持って、今と未来の京都に責任ある行動をとる人
- ▶ **チャレンジ精神を持った人**
地域主権の担い手として、社会の変化を先取りする先見性と高いコスト意識を持って、自ら考え、行動し、改革する人
- ▶ **市民の信頼にこたえる人**
市民感覚を大切にするとともに、常に市民と共に汗し、協働し、地域力を高め、都市の魅力を継承・発展させる人
- ▶ **協力・協調を大切にする人**
チームワークを大切にし、協力しながら困難な目標に向かって挑戦する人

平成28年
3月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課
 電話：075-682-0119
 ファックス：075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)
[上京区](#)
[左京区](#)
[中京区](#)
[東山区](#)
[山科区](#)
[下京区](#)
[南区](#)
[右京区](#)
[西京区](#)
[伏見区](#)

閉じる



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成28年3月号](#)
 平成28年3月号 調査マンからのメッセージ

平成28年3月号 調査マンからのメッセージ

ページ番号194196

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

ツイート

シェア

2016年3月1日



意外と多いローソクが原因の火災

総務省消防庁が毎年発行している「消防白書」によると、ローソクやランプ類などの「灯火による火災」は、平成26年中に日本全国で発生した全火災43,741件のうち455件(約1%)であり、件数的には多くありません。しかし、建物火災だけで見ると、全建物火災23,641件のうち444件(約1.9%)となっており、また、灯火により発生した火災で25名(23件)の方が亡くなられています。

このように、灯火による火災の件数は多くありませんが、毎年、ほぼ一定数、発生しています。灯火による火災の多くは仏壇や神棚で日常的に使用されているローソクによるものですが、近年では、灯りや香りを楽しむための「アロマキャンドル」による火災も少なからず発生しています。

今回、数ある火災原因の中で、ローソクが原因の火災(以下「ローソク火災」といいます。)についてまとめたので、紹介します。

過去5年間のローソク火災の発生状況【京都市内】

○ 年別

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	計
ローソク火災件数	8件	12件	7件	7件	10件	44件
火災件数の内の比率	4%	4%	3%	3%	4%	4%

過去5年間の数字を見ると、毎年10件前後、その年の全火災件数の3~4%を占めています。

○ 火災種別、業態別

【火災種別】

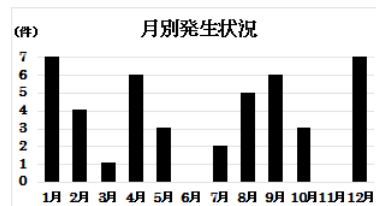
火災種別	件数
建物火災	43件
林野火災	1件
車両火災	0件
その他火災	0件

【建物業態別】

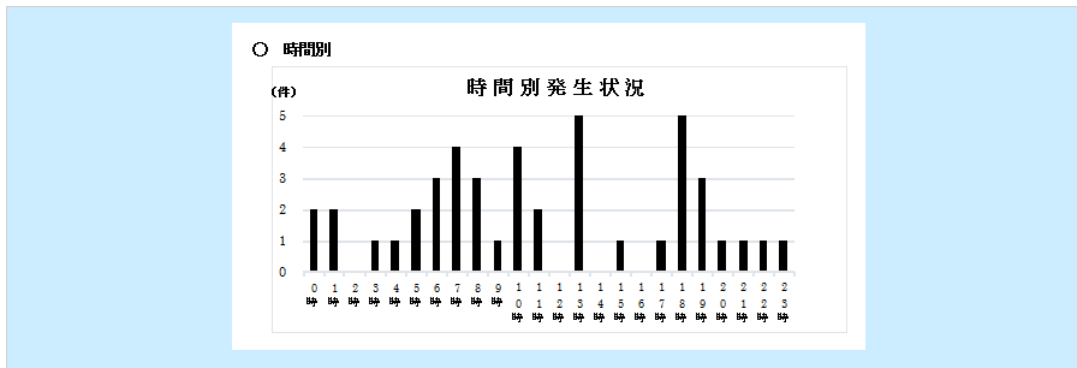
建物業態	件数
住宅火災	39件
住宅火災以外	4件

ローソク火災44件のうち、98%(43件)が建物火災で発生し、そのうちの91%(39件)が住宅(一般住宅、共同住宅及び併用住宅)で発生しています。

○ 月別



月別の状況を見ると、最も多いのが1月と12月の7件で、次いで4月と9月の6件となっています。この4箇月で計26件、全体の6割近くを占めており、6月と11月は発生していません。



時間別では、6～10時と、13時、18時の3回、発生のピークが表れています。

○ 死傷者

ローソク火災により4名の方が亡くなり、20名の方が負傷しています。これは、ローソク火災11件につき1名の方が亡くなり、2.2件につき1名の方が負傷していることとなります。

○ 出火責任者の年齢別

年代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計
件数	3	3	5	3	11	10	6	2	43

出火責任者が判明している43件のローソク火災における出火責任者の年齢別の状況は、60歳代が11件で最も多く、次いで70歳代の10件、80歳代の6件と高齢者の方が多くを占めていますが、20歳代や30歳代といった比較的若い年代も出火責任者となっています。

○ 出火経過

ローソク火災の出火経過は下表のとおりです。

経過	件数	比率
ローソクが転倒する	21件	48%
ローソクが動いて接触する(接炎等を含む)	9件	20%
お札等の可燃物が倒れたり、動いたりしてローソクに接触する	8件	18%
容器が破損、腐食する	2件	5%
その他	4件	9%

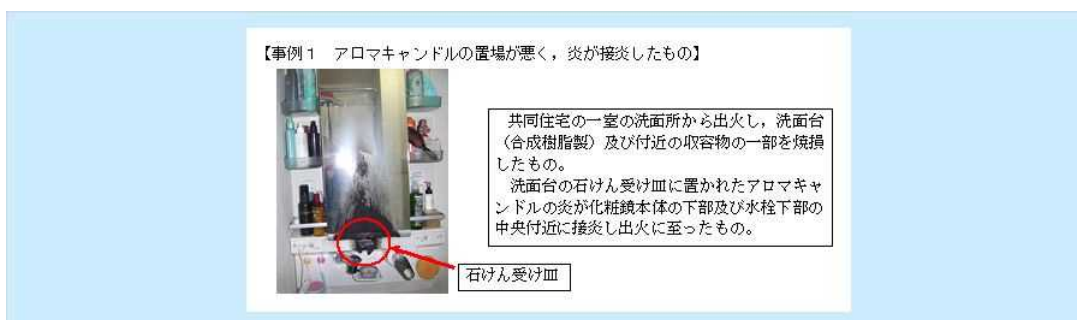
出火に至った経過では、何らかの原因でローソクが転倒して出火したものが、全ローソク火災の約半数を占めており、次いで、ローソクの火が近くの可燃物に接炎したもの、お札等の可燃物が倒れるなどによりローソクに接触して出火したものの順となっています。

ローソクの使用方法と火災事例

○ ローソクの使い道は様々ですが、大別すると次のように区分されます。

- ・ **灯明**: 仏壇や神棚及び祭壇等の灯明として使用する。
- ・ **照明**: 照明の代わりに使用されたり、室内の雰囲気作り等で使用する。
- ・ **アロマキャンドル**: リラゼーションの一つとして、色々な香り成分を含んだローソク(キャンドル)に火を灯し、その香りによってリラックス効果を得るために使用するもので、京都市内でも平成8年に初めてアロマキャンドルによる火災が発生してから、毎年、数件が発生しています。
- ・ **その他**: 国内の様々な風習や文化により使用されるほか、日本以外でもクリスマスツリーにキャンドル(ローソク)を使用する習慣等があります。

○ 次に、過去に発生したローソク火災の事例について紹介します。



居住者が、何となく、洗面台に設置の石けん受け皿にアロマキャンドルを置いたもので、アロマキャンドルの炎の高さ、洗面台の材質(合成樹脂製の可燃物)等との関係など、危険性の認識が足りなかった事案です。

【事例2 ローソクが転倒したもの】



住宅の1階和室から出火し、同和室及び収容物を焼失したものの。
1階和室に設置の仏壇に灯されたローソクが転倒し、打敷に着火し出火に至ったもの。

居住者が、以前に一度使用したローソクを再度使用し、その場を離れた間にローソクが転倒して打敷に着火し、出火した事案ですが、一度使用したローソクの底部が弱くなっていた可能性やローソク立てにしっかりと挿されていなかった可能性が考えられます。また、ローソクとローソク立ての大きさは適正でしたが、この住宅では室内で動物を飼っており、出火室に出入りすることもあったことから、動物がローソクを転倒させた可能性も考えられます。

【事例3 ローソク火が着衣に着火したもの】



共同住宅の一室の和室から出火し、衣類及びカーペットの一部を焼失したものの。
和室に設置の仏壇のお供え物を下げようとした際、仏壇手前の経桌上的ローソク立てのローソクの炎が着ていたワイシャツの袖に着火し、出火に至ったもの。
(写真は再現したもの。)

ローソクに近付く場合は、一旦、ローソクの火を消してから行うこと、袖や裾が広がっている衣服は火を扱う際には着用しないようにすること、燃えにくい処理をした防災製品の衣類を着用することなどで、着衣への着火は防ぐことができます。

※ ワンポイント

万一、着衣着火した場合は、走り回らないこと。
慌てて走り回るとは風を送ることと同じで、炎を大きくしてしまう恐れがあります。
近くに水道等がない場合などは、火を叩き消すか地面に転がって消火してください。
ストップ(止まる)⇒ドロップ(倒れる)⇒ロール(転がる)

【事例4 ローソクを立てていた容器に着火したもの】



共同住宅の一室の居間から出火し、同居間の収容物の一部を焼失したものの。
合成樹脂製の小物入れに火を付けたローソクを立て、消さずに就寝したため、時間と共に短くなったローソクの火が樹脂製の小物入れに着火し、出火に至ったもの。

居住者が、夜間の照明のために使用していたローソクの火が樹脂製の小物入れに着火し、出火した事案ですが、ローソクを立てる容器を、ローソクが燃え尽きたときでも火が付かない陶磁器にすること、ローソクが転倒しないように安定させて立てること、周囲に燃えやすい物を置かないように注意することなどで、火災を防ぐことができます。

【事例5 接炎によるもの】



〈復原した神棚を撮影〉

住宅の仏間から出火し、同仏間に設置の神棚を焼失、天井及び壁体の一部を焼損したものの、神棚内の造花の櫛に近接した状態で点火したローソクを立て、その場を離れたため、造花の櫛の葉の軸が熱により垂れ下がり、櫛の葉がローソクに接炎、着火し、出火に至ったもの。

正月用の鏡餅及び雑煮を神棚に供えていたため、神棚内のローソクと櫛(造花)は普段より近接した状態になっており、そこでローソクを点火したため出火した事案です。

実際に近接した状態で出火に至るかを確認するため、再現実験を実施しました。櫛やローソクまでの間隔等を忠実に再現して実験した結果、初めにローソクに一番近い櫛の葉が溶融しましたが接炎せず、その後、枝が溶融し下方に垂れ下がったため、葉がローソクの炎に接し、出火しました。

正月のため、ローソクと造花の櫛が近接した状態になっているという、普段とは違う配置になっていたことが出火につながりましたが、火災を防ぐためには、ローソク付近には燃えやすい物を置かないことが重要です。

【再現実験の状況】



- ① ローソクに点火、最下部の葉が溶融するが接炎せず。(点火の約2.6秒後)
- ② 枝が溶融したため葉が垂れ下がり、ローソクの炎に接炎し、葉が燃焼した。(約2分2.1秒後)

【事例6 ローソクの芯が飛び跳ねて出火】



〈復原したローソク立てを撮影：枚方寝屋川消防組合消防本部のホームページから〉

この事案は、大阪府の枚方寝屋川消防組合消防本部の管内で発生した火災ですが、その発生のプロセスが衝撃的であったことから、広くテレビ等で紹介されました。
◎ 枚方寝屋川消防組合消防本部のホームページで詳細を見ることができます。

この事案は、大阪府の枚方寝屋川消防組合消防本部の管内で発生した火災ですが、住宅内の整理タンス上でローソクを使用中、タンスから離れた障子戸の一部が、居住者の目前でいきなり燃え上がったものです。

状況としては、ローソクの転倒はなく、障子戸が燃え始めたのはローソクの火が届かない場所であり、ローソク立ては前日に洗っていました。また、ローソクを使用している間、居住者は室内におり、居住者が火災に気付いたときにはローソクの火が消えていました。

そこで、前日にローソク立てを洗っていた状況から、洗っていないローソク立て(水分がない状態)と、洗ったローソク立て(水分がある状態)を使用し、実験が行われています。実験の結果、水分がない状態のローソク立てでは、異常な燃焼は認められませんが、水分がある状態のローソク立てでは、一定の条件がそろえば、燃焼が終了すると同時に火の付いたローソクがローソク立てから飛び上がり、落下する現象がみられました。

このような実験結果から、ローソク立ての受け皿に水分が残っている状態で使用していたことにより、ローソクの成分と水分が反応し、火の付いたローソクの芯がローソク立てから飛び上がり、火災に至ったものであることが推測できました。

極めてまれな事例ですが、このような火災を防止するためには、ローソク立てを水で洗った場合は必ず水分を拭き取り、洗ったすぐの使用は控え、十分に乾いてから使用するようにすることです。

最後に

ローソク火災は、冒頭にも書きましたが、まだまだ多く発生しています。ローソク火災を防ぐためには、

1. ローソクを使用しているときは、その場を離れないようにすること。もし、その場を離れる場合は、ローソクの火を確実に消すこと。

2. 周囲には燃えやすい物を置かないようにすること。
3. ローソク立ては火が付かない陶磁器等を使用し、確実に安定させること。
4. 万一来火に備え、消火器や水の入ったバケツなど、消火の準備をしておくこと。
5. 経机等の敷物は防災製品を使用すること。

などが重要ですが、ローソクのような小さな火でも油断すると大きな火災に直結します。訪問防火指導時には、出火事例と併せてローソク火災防止のポイントを市民の皆さんに伝えていただき、火災が1件でも減少するよう、お願いします。



お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2013 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

平成28年3月号 教養課通信 1

ページ番号 194801

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2016年3月1日

教養課通信 1**専科教育・特殊災害課程を実施****消防学校 教養課**
2月1日～9日

京都市消防学校では、京都市消防局の職員19名と京都府内の各消防本部の職員19名を対象に、特殊災害課程を実施しました。

本課程は、NBC災害に特化した教育専門的知識や技術を習得するために行っているもので、毒劇物の対応や生物化学テロ、放射性同位元素及び放射線に関する関係法令など、外部の専門家による講義を多く設定し、実施しました。また、実災害時の連携を強化するため、陸上自衛隊や京都府警察本部などの関係機関からも講師を派遣していただきました。

訓練では、当局の本部指揮救助隊が訓練指導に当たり、各種NBC関係資器材の取扱方法や除染導線の設定要領、要救助者の除染方法などの訓練を実施するとともに、現場指揮能力の向上を目的とした図上訓練及び実働訓練を行いました。







平成28年
3月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課
電話:075-682-0119
ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2013 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成28年3月号](#) 平成28年3月号 教養課通信 2

平成28年3月号 教養課通信 2

ページ番号194234

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

ツイート

シェア

2016年3月1日



平成27年10月1日付けで京都市消防学校に入学し、平成28年4月からの消防署勤務に向けて様々な訓練に取り組む第151期初任教育生。彼らの将来への抱負を紹介します。





平成28年
3月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課
 電話:075-682-0119
 ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

- [北区](#)
- [上京区](#)
- [左京区](#)
- [中京区](#)
- [東山区](#)
- [山科区](#)
- [下京区](#)
- [南区](#)
- [右京区](#)
- [西京区](#)
- [伏見区](#)

(c) 2013 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成28年3月号](#)
平成28年3月号 担当区ぐグット紹介

平成28年3月号 担当区ぐグット紹介

ページ番号193823

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#)

[シェア](#)

2016年3月1日



学区の紹介

左京区の北部、比叡山の麓に八瀬学区はあります。八瀬という地名は、“矢背”であると言い伝えられ、その由来は、天武天皇が壬申の乱(672年)のとき、八瀬の地で背中に矢傷を負ったことにちなむと言われています。

八瀬学区は、北は大原学区、南は上高野学区に接しており、高野川沿いに集落が形成された南北に細長い山間の学区です。周りは自然に囲まれ、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の景色を見ることができる風光明媚なところで、その美しい八瀬の情景は平安時代の和歌にも詠まれています。

赦免地踊り

八瀬には、江戸時代から続く「赦免地踊り(しゃめんちおどり)」という京都市の無形民俗文化財に登録された踊りがあります。この踊りは、江戸時代に八瀬のために尽力した、時の老中である秋元但馬守への感謝を忘れまいと八瀬の地に秋元神社を建立し、感謝の思いを踊りとして奉納したことに始まります。毎年10月上旬の日曜日の夜、踊り子や美しい切り絵が張り付けられた切子燈籠を被った燈籠着(とろぎ)という女装をした少年たちを中心に、音頭取りの歌声のもと、幻想的な雰囲気の中で祭が行われます。(詳しくは、八瀬赦免地踊り 公式ホームページ <http://shamenchi.net/> を御覧ください。)

自主防災会の紹介

八瀬学区自主防災会は、生田会長以下14名の役員と10自主防災部から構成されています。八瀬学区自主防災会では、毎年実施される各自主防災部の防災訓練と学区総合防災訓練を通じて、学区民の防災能力の向上に力を入れて取り組んでいます。昨年の学区総合防災訓練では、近年、大雨による水災害が八瀬学区で多発していることから、土のう等を活用した水防訓練を取り入れ、訓練に参加した学区民約200名が水災害に対する活動能力の向上に努めました。

さらに八瀬学区自主防災会では、こうしたソフト面だけでなく、ハード面にも力を入れています。八瀬学区は南北に細長いという特徴があるため、学区の北部と南部の2箇所に防災器具庫を整備して防災力の均衡を図っています。また、非常持ち出し袋の共同購入等の独自事業を行い、家庭での防災力の向上にも努めています。このように、八瀬学区自主防災会では、ソフトとハードの両面で災害に備えています。



八瀬学区自主防災会による学区総合防災訓練でのバケツリレーの様子

消防分団の紹介

八瀬消防分団は、上野分団長以下29名で構成されています。八瀬消防分団は、小型動力ポンプ付軽積載車を運用する「指定消防団」として、火災発生時は放水活動を行います。そのため、毎月、放水訓練を実施し、小型動力ポンプの取扱いや、放水及び吸水要領の習熟に努めています。また、八瀬消防分団は、今年の京都市消防団総合査閲への出場を目指して、現在、分団員全員が、日々、訓練に励んでいます。

八瀬消防分団は、事故防止にも力を入れて取り組んでおり、昨年は京都洛北ライオンズクラブの支援の下、警察署、消防署等と協力して八瀬学区にある登山道に山岳救助標識を設置する活動を行い、登山者の山岳事故防止を図りました。

八瀬消防分団による活動の様子



山岳救助標識の設置



水防訓練の指導



放水訓練

学区担当者から

八瀬学区は、豊かな自然と歴史がある学区です。それらを守るべく、消防団と自主防災会だけでなく、学区全体で日々努力を重ねておられます。大原消防出張所第一部も日々の指導等を通じて、学区の皆さんと連携して八瀬の自然と歴史を守っていきたいと思います。

平成28年
3月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)

[上京区](#)

[左京区](#)

[中京区](#)

[東山区](#)

[山科区](#)

[下京区](#)

[南区](#)

[右京区](#)

[西京区](#)

[伏見区](#)

(c) 2013 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

平成28年3月号 ザ☆消防

ページ番号193821

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2016年3月1日



消防生活も早いもので、まもなく20年を迎えようとしています。その大半を救助隊、消防隊として過ごしてきましたが、災害現場は常に難しく、なかなか満足していく活動はできないものだなと、日々、反省と訓練を繰り返しています。災害現場への出動を数多くしてきた中で、今でも、私の訓練や災害現場での基本と言いますか、原点となっている忘れられない現場の話をしたと思います。

それは、私がN部救助隊の救助隊員として勤務していた時のことです。N部救助隊と言えば、交通事故に始まり、機械や水難等の救助出動や管内、管外への火災出動も多く、駆け出しの救助隊員として経験を積むにはうってつけのところでした。そこで、救助隊員として4、5年が経過し、数々の災害現場を経験して私は、「どんな災害でもそれなりにこなせる」と自信满满になっていました。

そんなある夏、私は交通事故現場に出動しました。旧消防学校での救助訓練を終えて帰署する道中、F区で起きた事故でした。当隊は最先着で現場に到着。事故の状況は、信号待ちをしていた軽自動車の後ろに、普通乗用車が、ブレーキの故障で減速することなく軽自動車に衝突。そのまま勢い余って普通乗用車が軽自動車の上に乗れり上げ、押し潰している状態で、軽自動車内に運転者が1名、閉じ込められていました。隊長の指示で、上に乗れり上げている普通乗用車をけん引して移動するべく、すぐにフロントウインチを準備し、設定し、普通乗用車を移動させました。その後、隊長から大型油圧救助器具のスプレッダーとカッターを準備するよう指示があったので、設定して先輩隊員に手渡し、私はエンジンポンプの操作を行いました。そのとき、自分では、「フロントウインチの設定や操作は完璧にできた。スプレッダーとカッターもミスなく設定したし、後は要救助者が救出されて、自分の経験値がまた上がるなあ。」と思いながら活動していました。

ところが、先輩隊員が押し潰された軽自動車の天井を広げようと、スプレッダーを使用した瞬間、スプレッダーと油圧ホースの結合部付近からものすごい勢いで作動油が大量に噴出したのです。私は、すぐに、自分の結合にミスがあったのだとわかりました。設定中、油圧ホースを結合する際にカプラーを差し込んだ後、きちんと結合できているかを確認するため、抜き差し確認をするのが基本です。火災現場でのホース延長時にも必ず行う基本と同じです。しかし、私はその当時、「早く設定して早く救出して当たり前。自分はそんなミスはせえへん！外れるわけないやろ。」と自分の技術を過信し、抜き差し確認をしていなかったのです。

その光景を目の当たりにし、私は頭が真っ白になってしまいました。活動自体は、当隊のスプレッダーが使用不能になったため、増援要請で来てくれたT部救助隊の活動で何とか無事に終息させることができましたが、私にとっては、終生、忘れることができない悔いが残る現場となってしまいました。

結局、いくら、技術や知識があると思っても、アバウトな思いで現場活動を行っている、「早く設定できた。」「うまく救出できた。」と自己満足しているだけで、何にも良い活動ができていないのだと思い知らされました。基本が確実にできた上での応用、野球で言うならば、キャッチボールもできないのにいきなり試合に出ても無理なのと同じで、初心に立ち返り、基本を習熟しなくてはならないと、考えを改めさせられました。

この現場活動は、いつまでも忘れることができない恥ずかしくて悔しい現場であり、私の訓練や現場活動での原点になっています。現在、山科消防署の第1消防隊長として、自隊の隊員にも、事あるごとにこの話を聞かせて基本の大切さを指導しています。今後も、この失敗を忘れることなく、基本を大切に、基本を疎かにしない隊員を育てるとともに、現場活動を的確に実施していきたいと思っています。



平成26年11月
▲筆者中央



平成27年1月
▲筆者3列目左から4人目

平成28年
3月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

閉じる

平成28年3月号 あの日あの頃

ページ番号193822

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2016年3月1日

あの日あの頃

今と昔



右京消防署 大西 芳彦

昭和49年4月1日、夢と希望とそして一抹の不安を胸に消防学校の門をくぐり、3月で早42年になろうとしています。あと1箇月余りで退職を迎えることとなりました。まずは、この場をお借りして、諸先輩方並びに同僚の皆さんに対し、深く感謝申し上げ、筆を進めることとします。

さて、消防学校での初任教育修了後、私は中京消防署警防課第二係第二小隊に配置となり、日々、業務をこなしていました。当時は二係制(一係・二係)で6当務1休日、1隊が7名配置であったと記憶しています。今は受付業務がなくなりましたが、当時、昼間は隊員1名が順番で1時間毎に交代し、夜は2名で、受付業務に当たっていました。業務内容は、一般加入電話や災害の受信、一斉指令電話の対応、庁内放送、来署者の対応等々、署の顔(署長代理)として多忙を極めていたように思います。

以前のの中京消防署の受付は、堀川通御池の角のとても目立つ位置にあり、かつ、ガラス張りの部屋で、また、直近には二条城や二条陣屋等の観光名所があるため、受付前は観光客の往来が非常に多くありました。その頃、私が苦手だったのは、他の行政区の観光地への道順案内等をする事でした。消防の受付業務以外に、市民サービスの一環で観光名称等(市バス系統含む)を覚えることも必要とされ、随分、苦心したものです。観光客対策は、管内の地水利要図プラス観光案内図と解説書を入手して、何とか対応できるようになりました。余談ですが、受付業務中、外国人の方とはできるだけ目線を合さないようにしていたことを思い出しました。

また、受付業務中に災害出動があれば長時間勤務することとなり、合間をみて出動後のガレージ内の整理整頓や現場活動ですすだらけになり、冷え切った体で帰ってくる隊員のため、風呂の準備をするなどして出動隊の帰署を待っていました。

今では想像し難いことですが、当時の災害服装は自前の軍手のほかに、ゴム長靴、防火衣、防火帽の出で立ちで、放水活動をすれば軍手はもちろんのこと、作業ズボンはずぶ濡れで、長靴の中まで水浸しになって帰署するのが当たり前でした。特に冬季の帰署時は、冷たさで手足がしびれるほど過酷なものでした。ちなみに、当時の消防車の様子はというと、ドアなどはなく、ボンネットタイプのトヨタFC100やFHと呼ばれる車両でした。その中で新任の隊員は、車両後部の荷台の僅かな空間に乗り込み、出動していました。本署の第1小隊を「先発」、第2小隊を「後発」と呼んでいたと思います。今でいう指揮隊はなく、当時、中隊副長(今の副指揮隊長)が第1小隊に乗り組み、第2小隊に中隊長が乗り組み、指揮活動に当たっていました。

ただらだと「今と昔」について書き綴ってしまいましたが、拝命以来42年の間に、個人の装備品も車両も資器材も随分進化し、ハード面の充実により消防活動等は昔に比べ、よりスムーズに行えるようになってきたと実感していますが、消防人にとって、マンパワー、人間性の向上は、いつの時代においても必要不可欠なものです。間もなく、この職場を去りゆく者から皆様に一言、現状に満足せず、日々、色々なことに挑戦し、自己研さんを重ねられ、市民の付託に応えられる真の消防人として歩まれんことを祈願しつつ、筆を置きます。

平成26年3月
右京消防署にて



このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2013 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる